

磐城毎日

社長 大和田兵衛
発行所 福島縣平本市五丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
印刷 遠藤孝倫
電話 (平) 一〇一〇番
定価 月50円 1部2円
【日刊・月曜休刊】

投稿歓迎

國勢調査の人口其他

平市總人口四二、九〇〇名

昨年十月一日全國一齊に實施された國勢調査の平市に於ける人口其他の集計がこの程完了したが、平市の總人口は男二〇、七〇五人、女二二、二〇五人計四二、九〇〇名で、女は男に比べ一、一〇〇名多い。世帯數、五〇〇〇名多し、世帯人員等は次の通りである。

□世帯數八、四五一
この住宅別世帯數三、四一三、給與住宅五、一九九、借家三、三五九、間借九

□疊數一三八、〇八二
この住宅別疊數八〇、〇七三、給與住宅七、〇三八、借家四三、四二八、間借七、五九三

□世帯人員四二、九〇〇
この住宅別世帯人員二一、〇五一、給與住宅二、三〇四、借家一、五五三、間借三、〇二六

□其他防空壕、物置其他非住宅の居住者は世帯數二〇四人員九四〇名である

賃金不拂は月毎増加

勞基の十二月監督結果

平勞基署が昨年十二月中にその他の順となつて、監督實施した事業場は定期賃金未拂は依然として毎月二一、部分二、申告二安全違反件數が過半を占めていて、再監督七の計五十二件となり、勞基法違反は監督が支拂いを命じた金額百八十七件で前月に比し二六十六件の減少となつて、これは同署が十二月安全監督を重點としたため違反者を内譯は安全關係が五十九件でそのトップをしめ、いで年末年始の女子年少労働者の時間外使用、休日出勤等が二十二件、賃金未拂

寺坂も半分の勾配に

夏井間の林道開設を着工

平市と舊飯野村の合併條件の一つである市北白土字中島前より南白土字古宿を経て夏井村資波に通ずる林道の開設は既報の様に縣當局で測量を終り設計中であるが、近日中に着工の運びとなつた。この林道は延長一四六米、幅員三米六〇で途中に寺坂と稱する八分の勾配である。急坂も十五分の一段に切り下げられ、白土と南白土間の新川舊古川に架せられて、高橋も改修される。管差し當り市直營の失業救済工事として一月より三月まで土工等事を実施する事と決定した。

平し市社會課を訪れ屍体を學術研究資料として提供方を申し出たので社會課では市警察當局と協議の上醫大に提供する事に決定した。

法務局平支局のリンク

法務局平支局では十四日の日曜を利用して一泊二日の豫定で日光方面にリンクエトシヨンを挙行が十三日午後一時五十分上り列車で一行十四名は出發

保健所牛乳處理説明會を開く

保健所では十六日午後一時からいわき民報社階上で郡内の牛乳處理場及び酪農組合員五十名を集め法規改正の説明會を開く

町村議長會の役員會

石城郡町村議長會では十四日午前十一時より地方事務所會議室にて役員會を開き、十六年度豫算並に二十五年度追加更正豫算の審議を行ふ事となつた

プランク女史講演と婦人の炭礦勞務訪問

來平した東北民事部社會教育次長エスタープランク女史は十一日午後一時より石城地方事務所に於ける平市並に石城郡下各町村の婦人會長の會議の席上に臨み特別講演を行った。後同日下午三時常磐炭礦第五坑に赴き、落副所長の案内で入坑し坑内各所並に選炭場等約一時間互に、巡視し親しく婦人労働者の勤勞狀況を視察した

新賃金要求に炭礦三者協同

十一日午前十時常磐炭礦勞務本部に同礦及古河、隅田

謹告

社屋及び工務を新設し自社印刷となり一大飛躍を計畫中であつたが此處に企畫の變更をし紙面をしばらくの間縮小して速報に努力し全土重來を期するの準備をなし讀者の皆様と御支援の方を御託びする次第でありま

瀧

風はすくなく、しづきを含み、沸き、しづき、華し、力と、美との躍動の

奥様に御用心

あなたの御家庭にもありそうなお話！
近代味溢れる笑ひ松竹喜劇大作！
監督 中村 登

田中 絹代 若原 雅夫 淡島 千景
森 雅之 日守 新一 櫻 木 つ子
坂本 武 飯田 蝶子
トスヤキ 他オールスター

平 館

渡邊洋服店へ

冬の註文洋服は、親切丁寧安値の親切町安値の

平市二丁目 電話九五七番

鐵路の彈痕

集團強盜對鐵道公安隊の激闘
不安と戦慄に光る拳銃の亂射に
展開する痛絶の大活劇！
監督 安田 公義

岡 譲二 北河内 妙子
キヤスト 堀 雄二 利根 はる恵

世界 館

肉精 三三三屋

平市田町 三三三番

